報道関係各位

2022 年 1 月 19 日
株式会社インテージリアルワールド

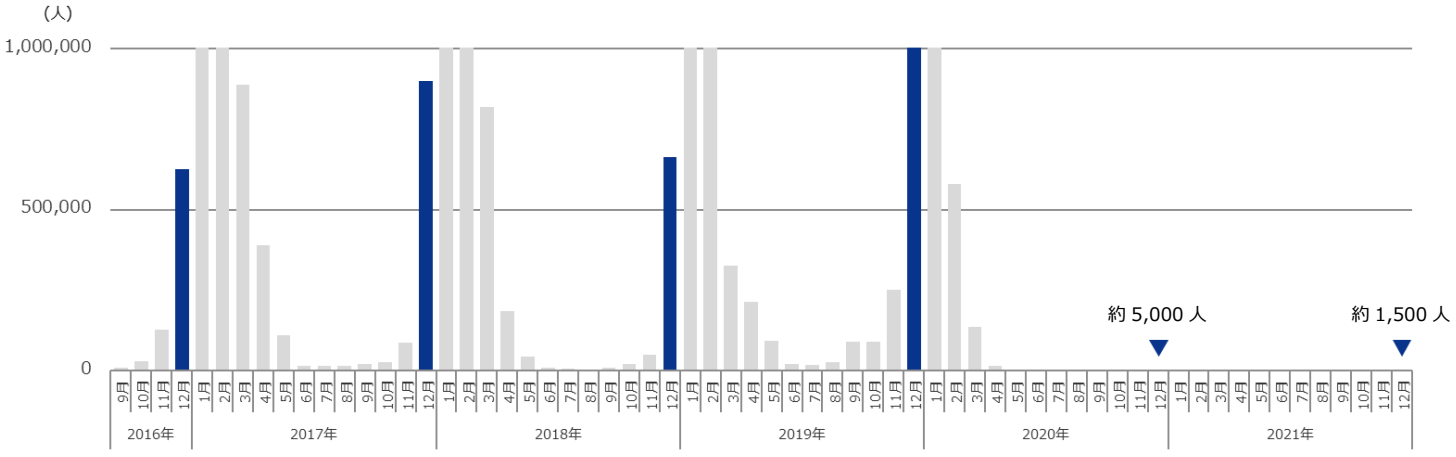
インフルエンザ患者数は例年比約 650 分の 1
未だ流行入り見られず

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の 2021 年 12 月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大がレセプトデータに与えた影響を調査・分析しました。

12 月は例年インフルエンザ患者数が急増する月であり、インフルエンザの流行が起こらなかった 2020-2021 年シーズンでは最も患者数が多い月（推計患者数約 5,000 人）となりましたが、2021 年 12 月の状況はどうだったのでしょうか。シーズン前はインフルエンザワクチンの供給不足もあり、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行について心配する声が聞こえていましたが、12 月は全くと言って良いほどインフルエンザの話を耳にしません。今回も流行状況の指標としてインフルエンザ治療薬の処方動向をみていきます。

2021 年 12 月の経口インフルエンザ治療薬の推計患者数は約 1,500 人となり、11 月の約 1,150 人から増加しましたが、コロナ禍前の 2016 年～2019 年平均比で約 650 分の 1、2020 年比でも約 3 分の 1 と大幅に患者数が少ない状況が続いています。10 月以降、患者数の上昇は続いていますが例年に比べ増加は緩やかであり、流行の兆しは未だ見えていません。

■インフルエンザ治療薬 推計患者数推移



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、バロキサビルを処方された患者を対象として分析

12 月まで新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着いていましたが、1 月に入り急速に感染者数が増えてきています。現在急増しているオミクロン株は、第５波で増加していたデルタ株と比較し重症化リスクは低いと考えられていますが、医療従事者が濃厚接触者となり休職を余儀なくされるなど、医療の逼迫を招き始めています。

感染者の急増は始まったばかりですが、1 月 9 日に広島県、山口県、沖縄県でまん延防止等重点措置の実施が開始され、範囲の拡大も検討されており、医療現場への影響が気になるところです。

インテージリアルワールドでは今後も変異株の流行、インフルエンザの流行、３回目のワクチン接種開始などが処方に与える影響をいち早く捉え、発信して参ります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド　企画開発部　鹿島田
E メール: pr-irw@intage.com　Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド　会社概要

会社名　：株式会社インテージリアルワールド
所在地　：〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階
代表者　：代表取締役社長　佐藤 暢章
設立日　：2005 年 7 月 14 日
資本金　：1 億 8,825 万円（株式会社インテージヘルスケア 100%出資）
事業内容：

株式会社インテージリアルワールドは、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020 年 7 月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指します。

URL　：https://www.intage-realworld.co.jp/